2026年12月期　第３四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社エフ・コード	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9211	URL	https://f-code.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	工藤　勉
問合せ先責任者	（役職名） 取締役CFO	（氏名）	衣笠　槙吾　　(TEL) 03-6272-8991
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（　オンライン開催　　）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	12,628	50.3	2,538	45.0	2,265	39.9	1,470	39.9	1,287	29.3	1,470	39.9
2025年12月期第３四半期	8,402	173.0	1,750	85.0	1,619	86.3	1,051	87.6	995	82.0	1,051	87.6

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	105.10	101.71
2025年12月期第３四半期	81.27	75.08

（注）2026年12月期第３四半期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期第３四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	28,564	5,660	8,626	30.2
2025年12月期	26,429	6,717	7,520	28.5

（注）2026年12月期第３四半期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	21.5	3,300	45.1	3,000	45.0	2,000	35.0	1,900	33.1	155.62

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

（注）当社は、2026年12月期第３四半期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、連結業績予想の対前期増減率については、当該暫定的な会計処理の確定の内容を反映させた2025年12月期連結業績との比較によっております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　４社（社名）　株式会社En place、株式会社AI ONE、株式会社ONE、株式会社Roombox　　除外　　ー社（社名）　ー

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期３Ｑ	12,479,400株	2025年12月期	12,409,400株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	199,255株	2025年12月期	200,631株
③　期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期３Ｑ	12,248,632株	2025年12月期３Ｑ	12,252,296株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予測に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は2026年11月13日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）要約四半期連結財政状態計算書 …… 4
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 6
要約四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
要約四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）要約四半期連結持分変動計算書 …… 8
（４）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

①経営成績

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中東情勢の影響に伴うエネルギー価格の高止まりや、物価上昇圧力は継続しており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開するデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）市場及びデジタル関連のIT＆ビジネスコンサルティング市場においては、コロナ禍以降、消費活動のオンライン化が急速に進展したことにより、消費者のメディア接点は一層多様化し、それに対応するためのデジタルシフトが多くの企業において活発に進められています。加えて、近年はAI技術の著しい進展により、業務の自動化や意思決定の高度化を通じて企業の生産性を飛躍的に高める可能性が現実のものとなりつつあり、これを取り入れたDXの取り組みは、単なる業務効率化にとどまらず、新たな価値創出や競争優位の確立をもたらす手段として注目を集めています。こうした背景のもと、当該市場は今後も高成長が期待される領域として、引き続き注目を集めております。

このような経営環境のもと、当社グループでは、企業のデジタル改革を支援することを目的として、主に二つの領域においてサービスを提供しております。第一に、増加を続けるデジタル接点に対応し、企業のマーケティング成果を最大化するための支援を行うMarketing & School領域に取り組んでおります。第二に、企業のDX化や高度なデジタル化を推進するため、AIの利活用やシステム開発などを通じて支援を行うAI・Technology領域に注力しております。さらに当社グループでは、サービスのケイパビリティを拡張し、各グループ企業の強みや顧客基盤を活かしたサービス間のクロスセルなどによるシナジー創出を通じて収益の向上を図ることを目的として、M&Aを積極的に推進しております。

当第３四半期連結累計期間においては、2026年１月22日付で連結子会社である株式会社JITTがHIKIYOSE株式会社からのリスキリング事業及び営業支援事業等の事業譲受を実行し、また、2026年２月２日付で同じく連結子会社である株式会社Real usによる株式会社En placeの株式取得（孫会社）、2026年２月24日付で当社による株式会社AI ONEの一部の株式取得（同社の子会社である株式会社ONEについても孫会社化）、2026年５月８日付で当社による株式会社Roomboxの一部の株式取得をそれぞれ実行して連結子会社化しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、前連結会計年度及び当第３四半期連結累計期間においてM&Aにより連結子会社となったグループ各社の業績貢献に加え、スクール事業を中心としたMarketing & School領域が堅調に推移したことにより、売上収益は12,628,596千円（前年同期比50.3%増）、営業利益は2,538,406千円（前年同期比45.0%増）、税引前四半期利益は2,265,273千円（前年同期比39.9%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,287,321千円（前年同期比29.3%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、28,564,937千円となり、前連結会計年度末に比べ2,135,507千円増加しました。その主な要因は、現金及び現金同等物が355,202千円減少した一方で、営業債権及びその他の債権が933,929千円、新たなM&Aの実行に伴いのれんが1,422,800千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、22,904,582千円となり、前連結会計年度末に比べ3,193,023千円増加しました。その主な要因は、新たなM&Aの実行に伴い契約負債が1,547,627千円（主に新規連結子会社の取得日に引き受けた負債）、子会社株式の非支配株主に係る売建プット・オプションの新たな認識等に伴い非流動のその他金融負債が1,370,914千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（資本）

当第３四半期連結会計期間末における資本合計は、5,660,354千円となり、前連結会計年度末に比べ1,057,516千

円減少しました。その主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が1,287,321千円増加した一方で、子会社株式の非支配株主に係る売建プット・オプションの新たな認識等に伴い非支配持分が2,163,240千円減少したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2026年２月13日に公表しました2026年12月期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期 連結会計期間 (2026年９月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,086,077	7,730,875
営業債権及びその他の債権	2,152,543	3,086,473
その他の金融資産	147,130	562,382
その他の流動資産	1,090,651	1,015,877
流動資産合計	11,476,403	12,395,608
非流動資産		
有形固定資産	459,380	478,710
のれん	11,954,853	13,377,654
無形資産	392,392	388,977
その他の金融資産	873,598	1,083,570
繰延税金資産	1,263,821	826,920
その他の非流動資産	8,979	13,496
非流動資産合計	14,953,025	16,169,328
資産合計	26,429,429	28,564,937

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期 連結会計期間 (2026年９月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	757,157	745,092
契約負債	595,711	2,143,339
短期借入金	266,676	―
社債及び借入金	3,369,730	3,285,444
リース負債	107,042	142,845
未払法人所得税	334,278	68,369
その他の金融負債	646,696	843,324
その他の流動負債	1,723,999	2,396,617
流動負債合計	7,801,293	9,625,033
非流動負債		
社債及び借入金	9,025,182	9,037,291
リース負債	272,378	253,174
繰延税金負債	14,901	20,365
その他の金融負債	2,576,704	3,947,618
引当金	21,099	21,099
非流動負債合計	11,910,266	13,279,549
負債合計	19,711,559	22,904,582
資本		
資本金	57,521	79,941
資本剰余金	5,244,591	5,038,130
利益剰余金	2,574,825	3,862,147
自己株式	△356,417	△353,973
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,520,521	8,626,245
非支配持分	△802,650	△2,965,891
資本合計	6,717,870	5,660,354
負債及び資本合計	26,429,429	28,564,937

（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	8,402,777	12,628,596
売上原価	3,299,346	4,733,581
売上総利益	5,103,431	7,895,014
販売費及び一般管理費	3,746,303	5,764,666
その他の収益	864,096	1,347,547
その他の費用	470,928	939,488
営業利益	1,750,295	2,538,406
金融収益	17,583	74,507
金融費用	148,439	347,641
税引前四半期利益	1,619,439	2,265,273
法人所得税費用	568,099	794,657
四半期利益	1,051,340	1,470,615
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	995,755	1,287,321
非支配持分	55,584	183,294
四半期利益	1,051,340	1,470,615
１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	81.27	105.10
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	75.08	101.71

要約四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期利益	1,051,340	1,470,615
その他の包括利益	―	―
四半期包括利益	1,051,340	1,470,615
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	995,755	1,287,321
非支配持分	55,584	183,294
四半期包括利益	1,051,340	1,470,615

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計
2025年１月１日	27,910	5,485,614	1,147,405	△485	6,660,445
四半期利益	―	―	995,755	―	995,755
その他の包括利益	―	―	―	―	―
四半期包括利益	―	―	995,755	―	995,755
自己株式の取得	―	―	―	△355,883	△355,883
新株予約権の発行	―	2,929	―	―	2,929
新株予約権の行使	29,611	22,896	―	―	52,508
非支配株主へ付与されたプット・オプション	―	378,249	―	―	378,249
支配継続子会社に対する持分変動	―	△645,094	―	―	△645,094
企業結合による変動	―	―	―	―	―
所有者との取引額等合計	29,611	△241,018	―	△355,883	△567,291
2025年９月30日	57,521	5,244,595	2,143,161	△356,368	7,088,910

	非支配持分	資本合計
2025年１月１日	△623,746	6,036,699
四半期利益	55,584	1,051,340
その他の包括利益	―	―
四半期包括利益	55,584	1,051,340
自己株式の取得	―	△355,883
新株予約権の発行	―	2,929
新株予約権の行使	―	52,508
非支配株主へ付与されたプット・オプション	△222,410	155,838
支配継続子会社に対する持分変動	△165,533	△810,628
企業結合による変動	179,758	179,758
所有者との取引額等合計	△208,186	△775,477
2025年９月30日	△776,347	6,312,562

当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計
2026年１月１日	57,521	5,244,591	2,574,825	△356,417	7,520,521
四半期利益	―	―	1,287,321	―	1,287,321
その他の包括利益	―	―	―	―	―
四半期包括利益	―	―	1,287,321	―	1,287,321
自己株式の処分	―	△1,644	―	2,444	799
新株予約権の行使	22,420	22,380	―	―	44,800
非支配株主へ付与されたプット・オプション	―	―	―	―	―
支配継続子会社に対する持分変動	―	△227,196	―	―	△227,196
企業結合による変動	―	―	―	―	―
所有者との取引額等合計	22,420	△206,461	―	2,444	△181,597
2026年９月30日	79,941	5,038,130	3,862,147	△353,973	8,626,245

	非支配持分	資本合計
2026年１月１日	△802,650	6,717,870
四半期利益	183,294	1,470,615
その他の包括利益	―	―
四半期包括利益	183,294	1,470,615
自己株式の処分	―	799
新株予約権の行使	―	44,800
非支配株主へ付与されたプット・オプション	△2,787,491	△2,787,491
支配継続子会社に対する持分変動	227,196	―
企業結合による変動	213,760	213,760
所有者との取引額等合計	△2,346,534	△2,528,131
2026年９月30日	△2,965,891	5,660,354

（４）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、以下のとおりであります。

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費及び償却費	186,750	175,640

（注）当第３四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第３四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しにより認識された無形資産の償却費が反映された後の金額によっております。

（セグメント情報等）

当社グループは、DX事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。